

5月末までに提出して下さい。(厳守)

記入例

●●●●年●月●●日

北九州市長 北橋 健治 様

〒●●●●-●●●●

所在地 北九州市●●区●●町●-●

企業名 株式会社●●●●

代表者役職 代表取締役社長

氏名 北九 一郎

事業報告書(第8号様式別紙1)と同じ内容として下さい。

エネルギー使用量等実績報告書

事業実施年度を記入して下さい。

1 事業概要		事業実施年度	
設備を導入した事業所	所在地	北九州市●●区●●町●-●	
	名称	株式会社●●●● ■■サービスセンター	
	報告者(役職・氏名)	●●係長 ●● ●●	
	連絡先	TEL 093-●●●●-●●●●	
事業実施年度	●●●●年度	補助金交付額	1,000千円
導入設備の概要	A 見える化機器類又はサービス	<設備>該当するものを○で囲むこと BEMS・HEMS・デマンドコントローラー・ その他( <u>エネルギーモニター</u> ) <サービス> 電力会社( ▲▲電力株式会社 Webサービス )	
	B 省エネ設備①	LED照明	合計30台
	B 省エネ設備②	高効率空調機	合計●台
	C 新エネ設備	太陽光発電設備	合計●kW
	D 省エネサービス	●●サービス	合計■台

2 見える化機器類の活用状況

エネルギーの見える化は、省エネの継続的な取組みへの有効な手段になるものと考えています。活用状況(どう役に立ったか、今後どう役立てようとしているか)や、1年間のデータを振り返って気付いたことを記載してください。データのなかで特徴的なもの(特に省エネに取り組んだ、取り組めなかった)があれば、その部分を印刷して提出してください。(様式自由)

<活用状況>  
 毎月、経営会議で報告と同時に社内報へ電力の使用状況グラフを掲載しており、従業員の省エネに対する意識が高まった。  
 <データを振り返って気付いたこと>  
 今年は猛暑(厳冬)だったが、前年度に比べ電気使用量(料金)が下がった。  
 <省エネ診断員からのアドバイス>  
 別紙の通り

※省エネ診断を受診された方は、見える化機器類のデータを省エネ診断員に提出して、さらなる省エネに向けたアドバイスを受けることをおすすめします。アドバイスを受けた場合は、その内容が記載された書類のコピーを添付してください。

※2頁目は、使用されている電力契約により低圧と高圧のどちらかを選択して記入してください。なお、低圧と高圧両方の契約がある場合は、各々に記入してください。

該当する年度を記入下さい。

関係する項目について記入してください。

節水型トイレ・擬音装置を導入された方は記入してください。

3 年間エネルギー使用量

項目	電気 kWh/年	都市ガス m <sup>3</sup> /年	LPG kg/年	灯油 l/年	水道 m <sup>3</sup> /年	太陽光発電量 kWh/年
【事業実施前:②の1年前】 ① 年度エネルギー使用量	9,680					
【事業実施後:事業実施年度】 ② 年度エネルギー使用量	8,100					
【削減効果】②-①	-1,580					
【事業実施後:②の1年後】 ③ 年度エネルギー使用量						
【削減効果】③-①						
【事業実施後:②の2年後】 ④ 年度エネルギー使用量						
【削減効果】④-①						

※網掛けの部分は自動的に計算されます。

電力会社請求書より、報告書提出当該年度の各月の電灯及び動力の電力使用量を記入します。

4 電力使用量等詳細(報告書提出当該年度)

【低圧】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電灯(kWh)	38	36	35	35	28	30	34	37	35	30	35	34	407
動力(kWh)	501	537	609	714	799	672	504	579	691	719	758	610	7,693
												合計	8,100

※本実績報告書提出の際には電気料金請求書兼領収証の写し(当該年度の4月～3月分)を添付してください。

5 補助金を活用して事業を実施した感想

事業効果や従業員の変化などをお聞かせください。  
記載いただいた内容は、北九州市次世代エネルギー設備導入事業のPR等のため、使用させていただく場合があります。

〈事業効果〉  
コスト削減ならびにCO2排出量の削減がデータで確認できたことにより、さらなる取り組みに向け社内の検討委員会を立ち上げたところです。

〈従業員の意識の変化等〉  
市の補助金を得て省エネ設備を更新したことが理解されており、家庭における省エネの取り組みにつながっている。

☆事業実施後3年間、この報告書の提出をお願いします。  
1回目提出期限：事業実施後最初に到来する5月末日  
2回目提出期限：事業実施後2度目の5月末日  
3回目提出期限：事業実施後3度目の5月末日

注1)シートは保護されています。(必要な場合は保護を外してください。)  
注2)電気以外の省エネ設備を更新した場合は、該当するエネルギー(都市ガス・LPG・灯油・水道)の月次毎の使用量が判るように請求書等を添付してください。

該当する年度を記入下さい。

関係する項目について記入してください。

節水型トイレ・擬音装置を導入された方は記入してください。

3 年間エネルギー使用量

項目	電気 kWh/年	都市ガス m <sup>3</sup> /年	LPG kg/年	灯油 l/年	水道 m <sup>3</sup> /年	太陽光発電量 kWh/年
【事業実施前:②の1年前】 ① 年度 エネルギー使用量	9,680					
【事業実施後:事業実施年度】 ② 年度 エネルギー使用量	8,100					
【削減効果】②-①	-1,580					
【事業実施後:②の1年後】 ③ 年度 エネルギー使用量						
【削減効果】③-①						
【事業実施後:②の2年後】 ④ 年度 エネルギー使用量						
【削減効果】④-①						

※網掛けの部分は自動的に計算されます。

電力会社請求書より、報告書提出当該年度の各月の契約電力・最大需要電力・電力使用量を記入します。

4 電力使用量等詳細(報告書提出当該年度)

【高圧】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約電力 (kW)	43	43	43	43	39	39	39	39	39	39	39	39	—
最大需要電力 (kW)	21	24	27	32	39	29	22	25	28	35	37	27	—
電力使用量 (kWh)	531	587	665	745	857	709	544	629	696	716	798	623	8,100

※本実績報告書提出の際には電気料金請求書兼領収証の写し(当該年度の4月～3月分)を添付してください。

5 補助金を活用して事業を実施した感想

事業効果や従業員の変化などをお聞かせください。  
記載いただいた内容は、北九州市次世代エネルギー設備導入事業のPR等のため、使用させていただく場合があります。

〈事業効果〉

コスト削減ならびにCO2排出量の削減がデータで確認できたことにより、さらなる取り組みに向け社内の検討委員会を立ち上げたところです。

〈従業員の意識の変化等〉

市の補助金を得て省エネ設備を更新したことが理解されており、家庭における省エネの取り組みにつながっている。

☆事業実施後3年間、この報告書の提出をお願いします。

1回目提出期限：事業実施後最初に到来する5月末日

2回目提出期限：事業実施後2度目の5月末日

3回目提出期限：事業実施後3度目の5月末日

注1)シートは保護されています。(必要な場合は保護を外してください。)

注2)電気以外の省エネ設備を更新した場合は、該当するエネルギー(都市ガス・LPG・灯油・水道)の月次毎の使用量が判るように請求書等を添付してください。